

■殺虫剤：農業用

ピレスロイド系

テルスター<sup>®</sup>水和剤

登録番号：20791

毒性：－

消防法：－

有効年限：5年

成分 ピフェントリン……2.0%

物理的・化学的性状 類白色水和性粉末45 $\mu$ m以下

包装：1kg×10

◆特長

- チョウ目害虫、アブラムシ類、カメムシ類、ヨコバイ類などの半翅目害虫、スリップス類など多くの害虫に優れた効果があります。
- ハダニ類にも高い活性を示し、リサージェンス（異常増殖）が起こりにくいピレスロイド剤です。
- 速効性にすぐれ、散布直後から強い殺虫効果を示します。また、効果の持続性が長く、少ない散布回数で高い防除効果が得られます。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフェントリンを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキアザミウマ カメムシ類	1,000～ 2,000倍	200～700 $\ell$ / 10 a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内	
	アブラムシ類 ワタミヒゲナガソウムシ	1,000倍						1回
りんご	モモシンクイガ キンモンホソガ ギンモンハモグリガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ							
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシチビガ アブラムシ類 ハダニ類	1,000～ 2,000倍			2回 以内		2回 以内	2回以内 (散布は1回以内、 くん煙は1回以内)
	もも							
ぶどう	チャノキアザミウマ	1,000倍			1回		1回	2回以内 (散布は1回以内、 くん煙は1回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピフェントリンを含む 農薬の総使用回数
かき	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	1,000～ 2,000倍	200～700ℓ / 10 a	収穫14日前まで	2回 以内		2回以内
	カキクダアザミウマ ハダニ類 カキノヒメヨコバイ	1,000倍					
びわ	アブラムシ類 オオタバコガ カメムシ類	1,000～ 2,000倍		収穫前日まで			
あけび(果実)		1,000倍		収穫7日前まで			
ハスカップ	アブラムシ類			収穫21日前まで	1回		1回
ばれいしょ		1,000～ 1,500倍	100～300ℓ / 10 a	収穫3日前まで	4回 以内		4回以内
あずき	アズキノメイガ	1,500倍		収穫7日前まで	2回 以内		2回以内
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				3回 以内		3回以内
すいか	アブラムシ類 ハダニ類						
メロン	アブラムシ類 ハダニ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフ コナジラミを含む)	1,000倍	150～300ℓ / 10 a	収穫前日まで	4回 以内	散布	4回以内
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ハダニ類				3回 以内		3回以内
キャベツ はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ アブラムシ類	1,000～ 1,500倍		収穫21日前まで	4回 以内		4回以内
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1,000倍		収穫7日前まで	2回 以内		2回以内
だいこん	アブラムシ類	1,000～ 1,500倍		収穫21日前まで			2回以内
てんさい	ヨトウムシ	250倍	25ℓ /10 a	収穫7日前まで	4回 以内		4回以内
	カメノコハムシ ハダニ類	1,000～ 1,500倍					
だいず	アブラムシ類				3回 以内		3回以内
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメゾウムシ	1,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫3日前まで			2回以内
パセリ	アブラムシ類				2回 以内		2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピフェントリンを含む 農薬の総使用回数
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ ヨモギエダシャク	1,000倍	200～400ℓ / 10a	摘採14日前まで	2回 以内	散布	2回以内
ホ ッ プ	アズキノメイガ ハダニ類 アサトビハムシ		200～700ℓ / 10a	収穫30日前まで			
た ば こ	ヨトウムシ アブラムシ類 オンシツコナジラミ	1,500倍	25～180ℓ / 10a	収穫10日前まで			
芝	スジキリヨトウ シバツトガ		300ml/m <sup>2</sup>	発生初期	3回 以内		3回以内
ば ら き く カーネーション	ハダニ類	1,000倍	150～300ℓ / 10a	—			
樹 木 類	ケムシ類		200～700ℓ / 10a	発生初期			

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

## ◆注意事項

- 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきること。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
  - ①内袋はぬれた手で触れないこと。
  - ②外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切ること。
  - ③薬液の調製は容器内に所定量の水の3分の1程度を入れた後、必要量の内袋を開封せずにそのまま容器内に投入すること。容器内に水を所定量加えた後、よく攪拌すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着する恐れのある場所では使用を避けること。
- 本剤をてんさいに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別すること。
- ばら、きく、カーネーションに使用する場合、収穫間際の散布は葉や花に汚れを生じる場合があるので避けること。

- (8) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (11) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

### ◆安全使用上の注意

- (1) 取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

### ◆魚毒性

- (1) 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。